



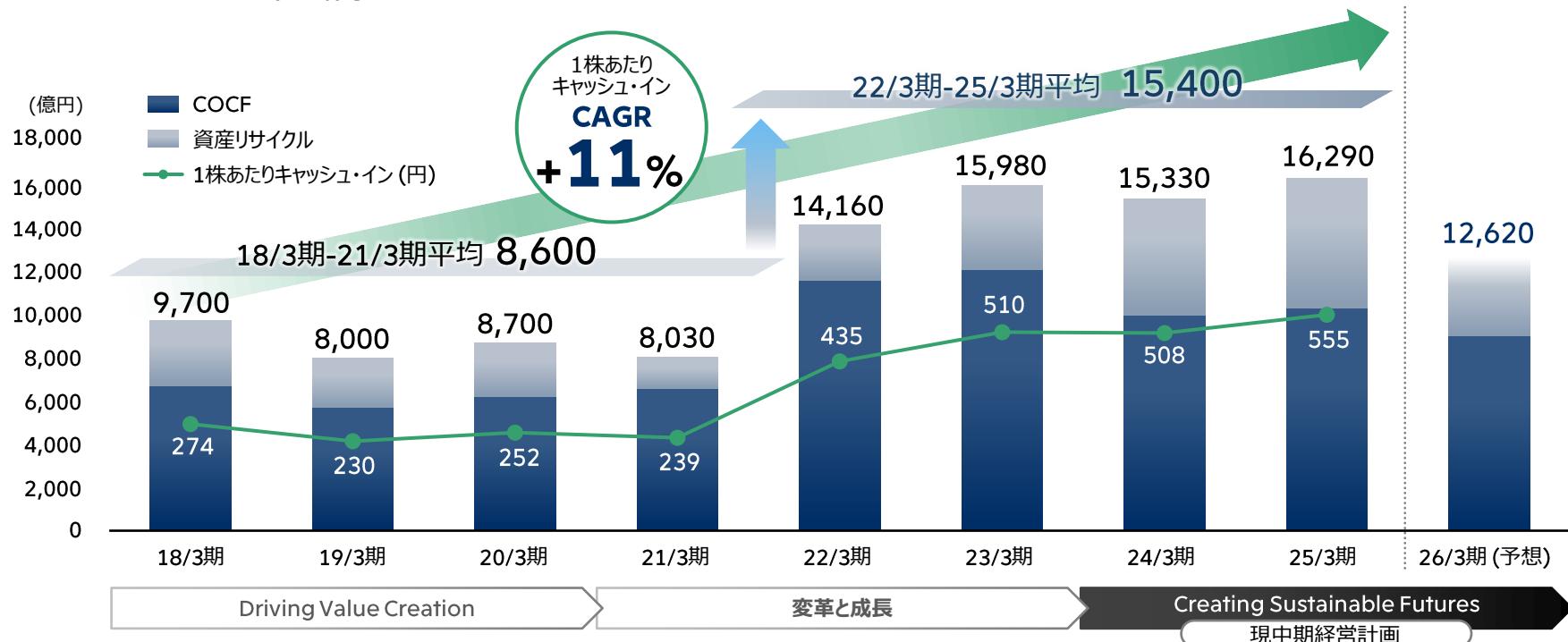
企業価値の持続的な向上

代表取締役副社長執行役員
CFO
重田 哲也



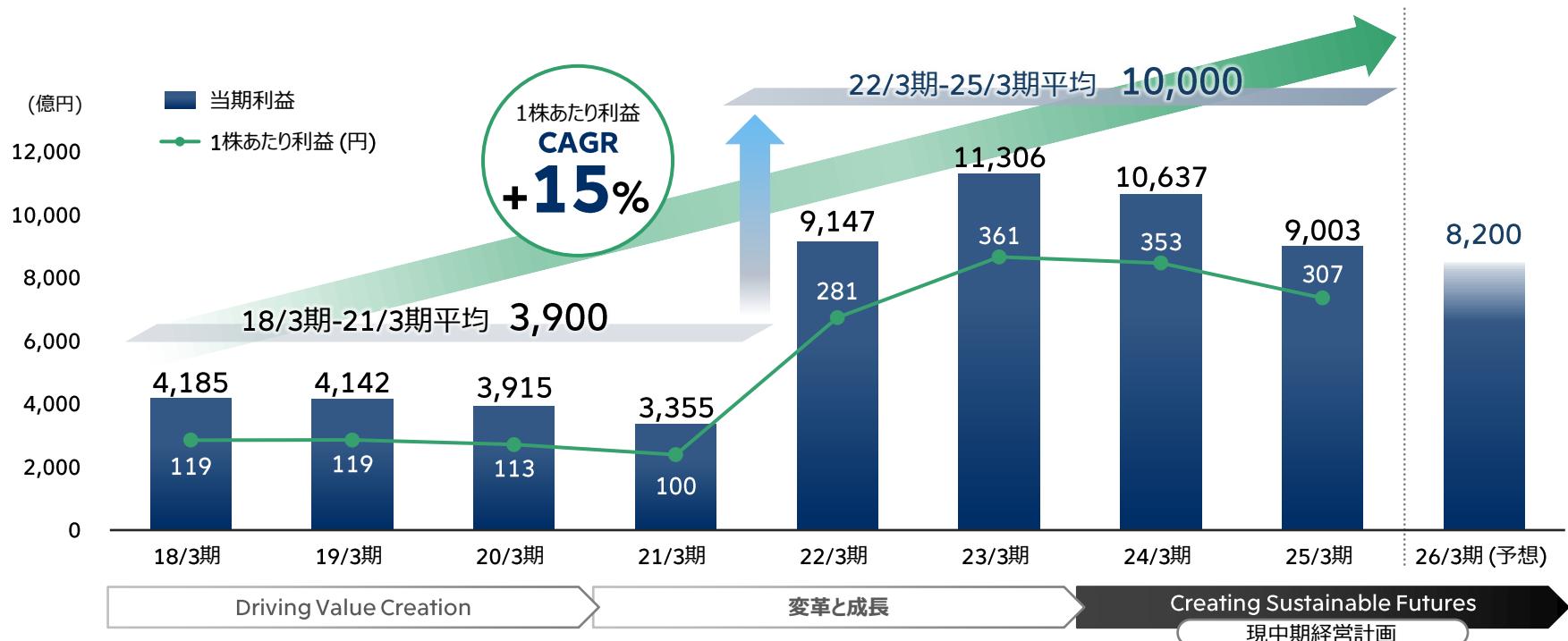
キャッシュ創出力と1株あたりキャッシュ・インの実績

◆ 基礎営業キャッシュ・フローと資産リサイクルによるキャッシュ・インを合わせたキャッシュ創出力の水準が一段切り上がり、その後も高い水準を維持



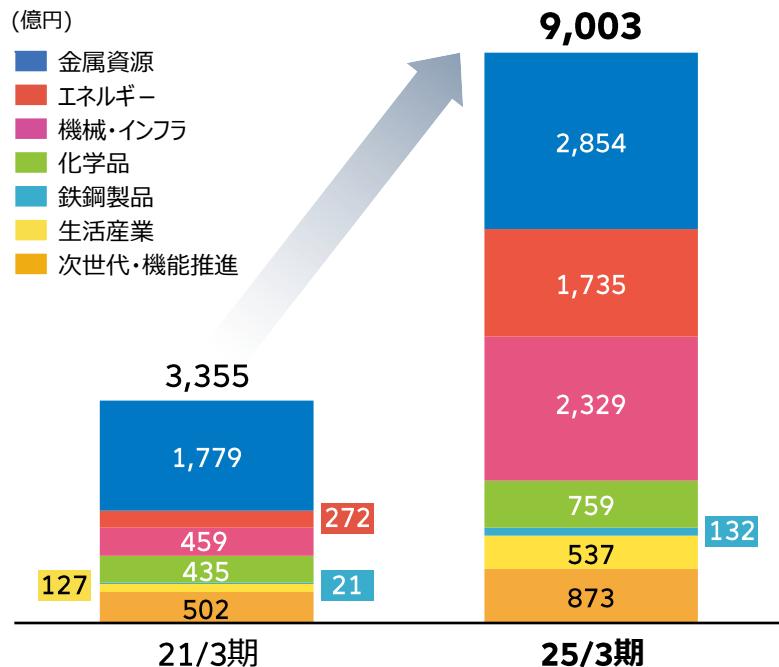
当期利益と1株あたり利益の実績

◆ キヤッシュ創出力と同様に当期利益水準が切り上がり、以降4年間の当期利益平均は1兆円を超える



セグメント別当期利益の推移

◆ 各セグメントでの事業良質化、全社での事業ポートフォリオ良質化に取り組んできた結果、高い成長率を実現

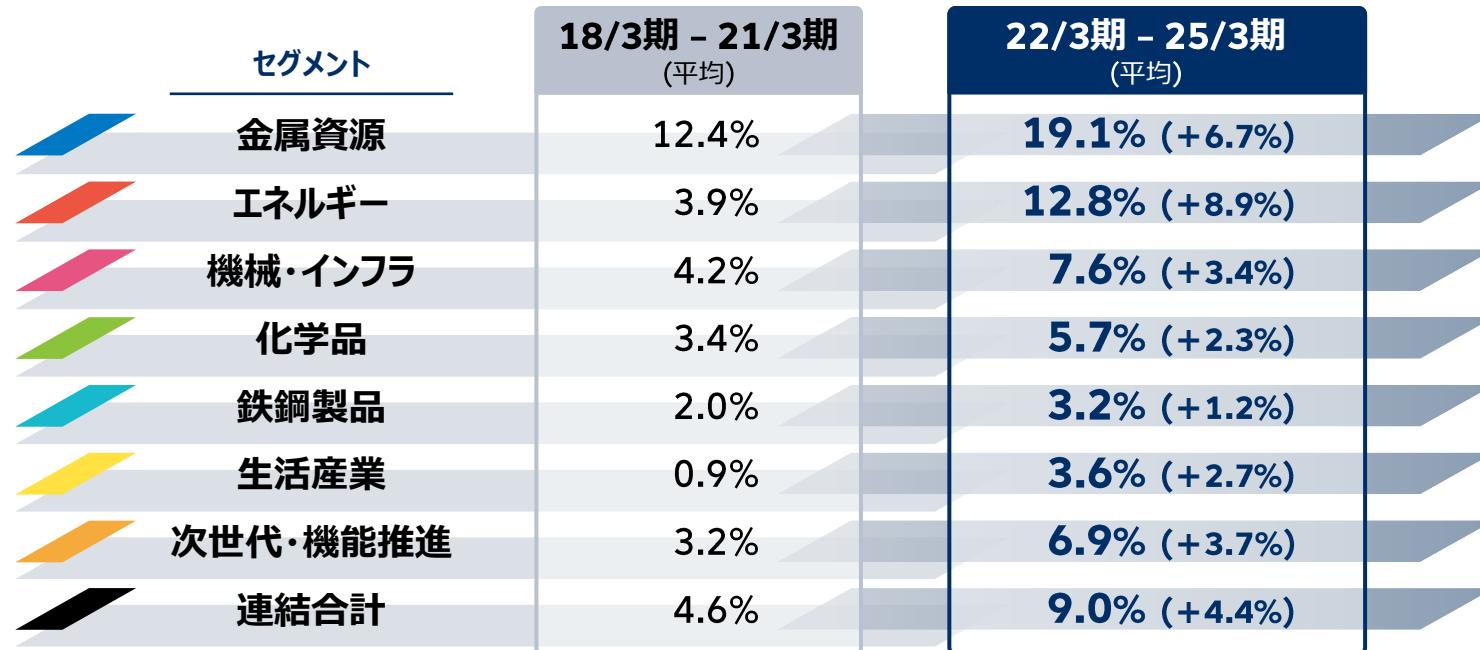


セグメント	CAGR (21/3期 → 25/3期)	
	当期利益	資産リサイクル、評価性/一過性除き
金属資源	12.2%	2.7%
エネルギー	58.9%	74.9%
機械・インフラ	50.1%	23.1%
化学品	14.9%	17.8%
鉄鋼製品	58.3%	83.2%
生活産業	43.4%	28.6%
次世代・機能推進	14.8%	1.3%
連結合計	28.0%	18.8%

*「その他・調整消去」の表示省略

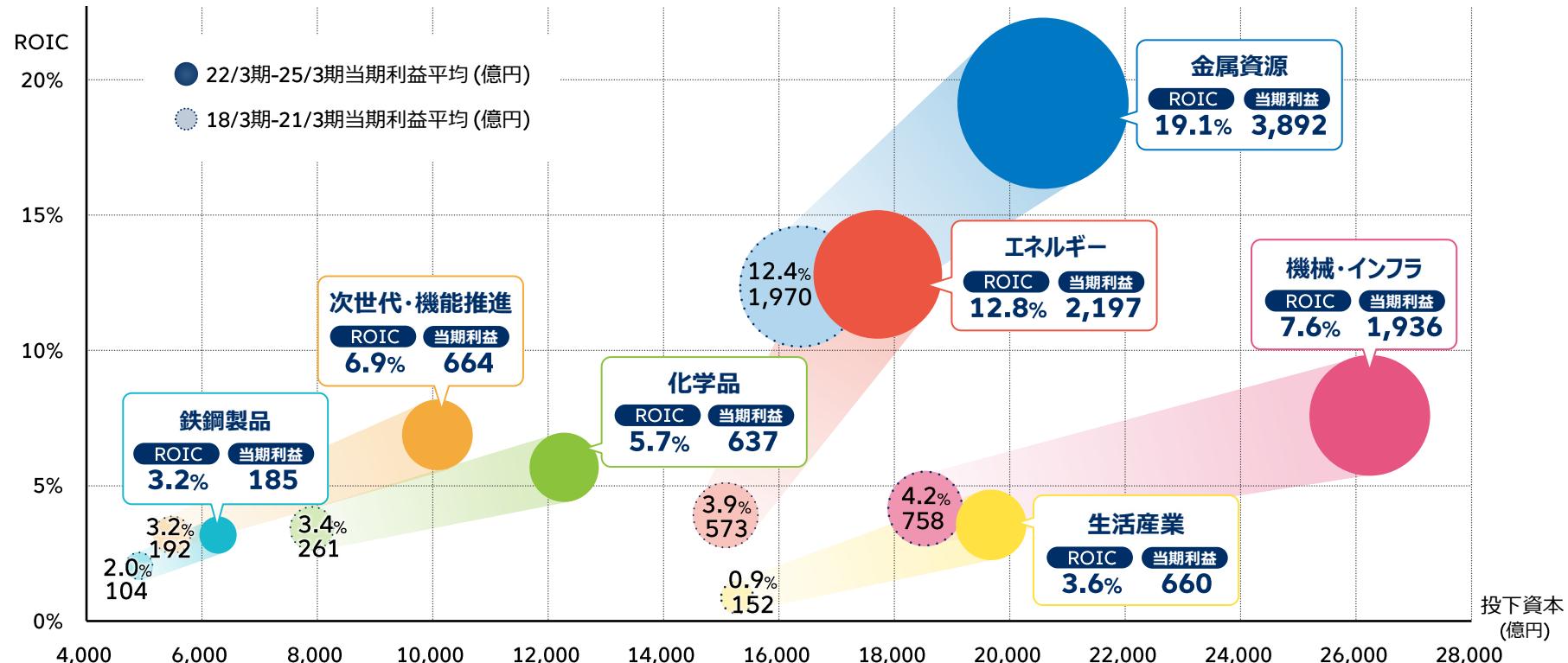
セグメント別 ROICの推移 (1/2)

- ◆ 当期利益水準のレベルチェンジや、資産ポートフォリオ・レビューを通じた資本効率向上により、全セグメントで ROICが向上



* ROIC算出前提: 分子は当期利益、分母は投下資本の前期末残高と当期末残高の平均

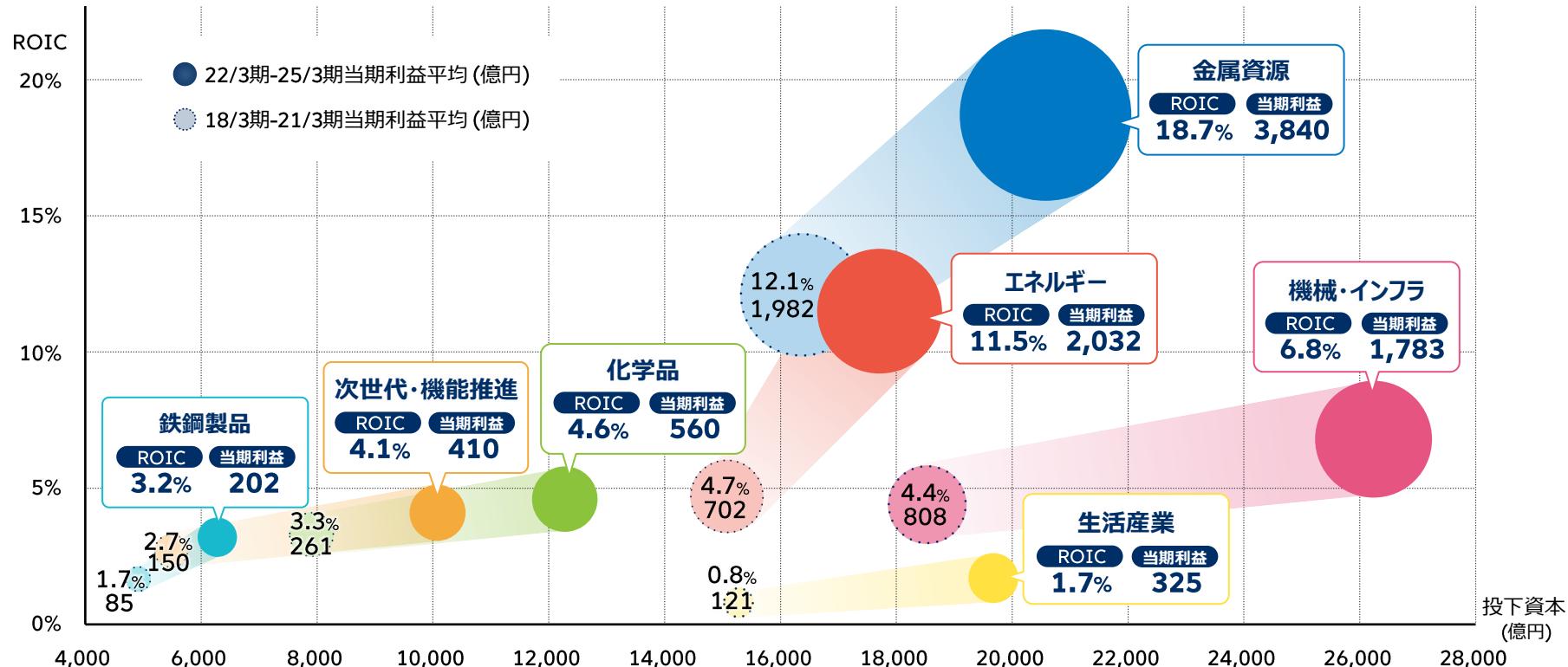
セグメント別 ROICの推移 (2/2)



* ROICは単年ROICの平均で計算しているため、当期利益をROICで割り戻して算出される投下資本と、チャートが示す投下資本は一致しない

ご参考

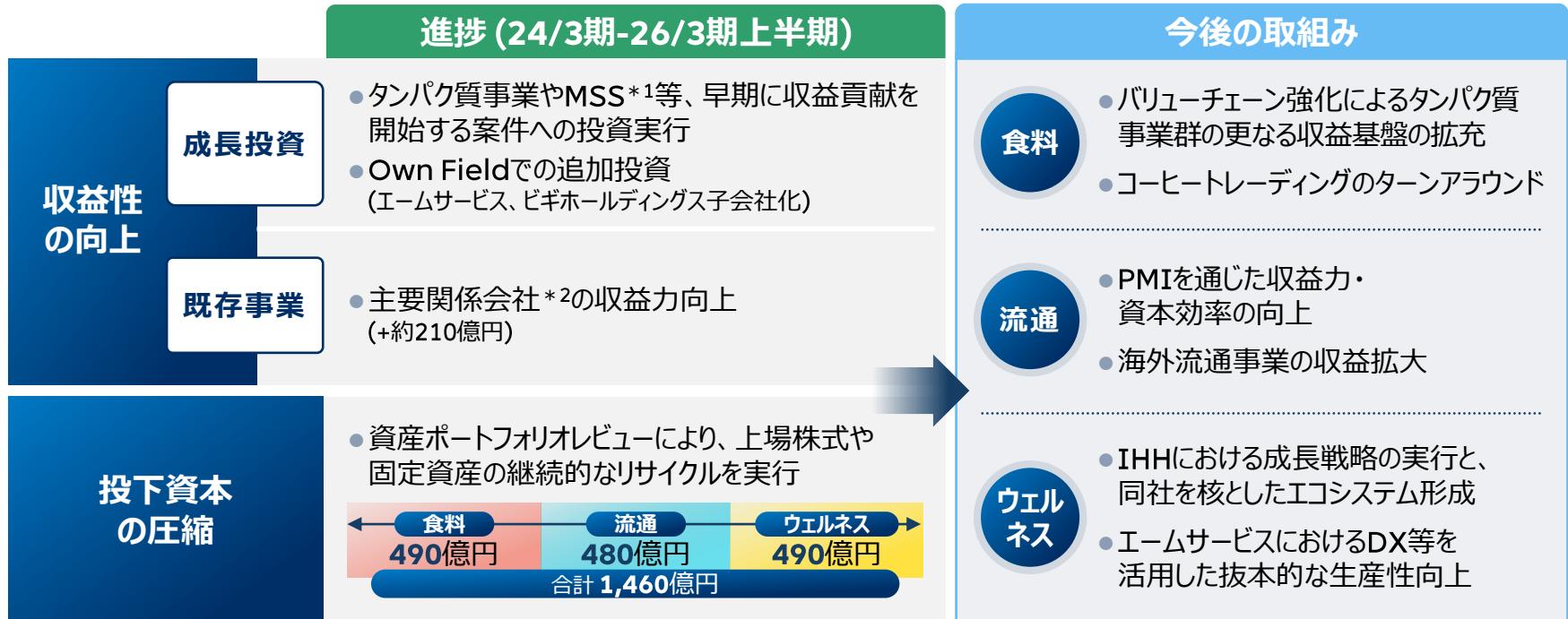
セグメント別 ROICの推移 (資産リサイクル、評価性/一過性除き)



* ROICは単年ROICの平均で計算しているため、当期利益をROICで割り戻して算出される投下資本と、チャートが示す投下資本は一致しない

生活産業セグメントのROIC改善

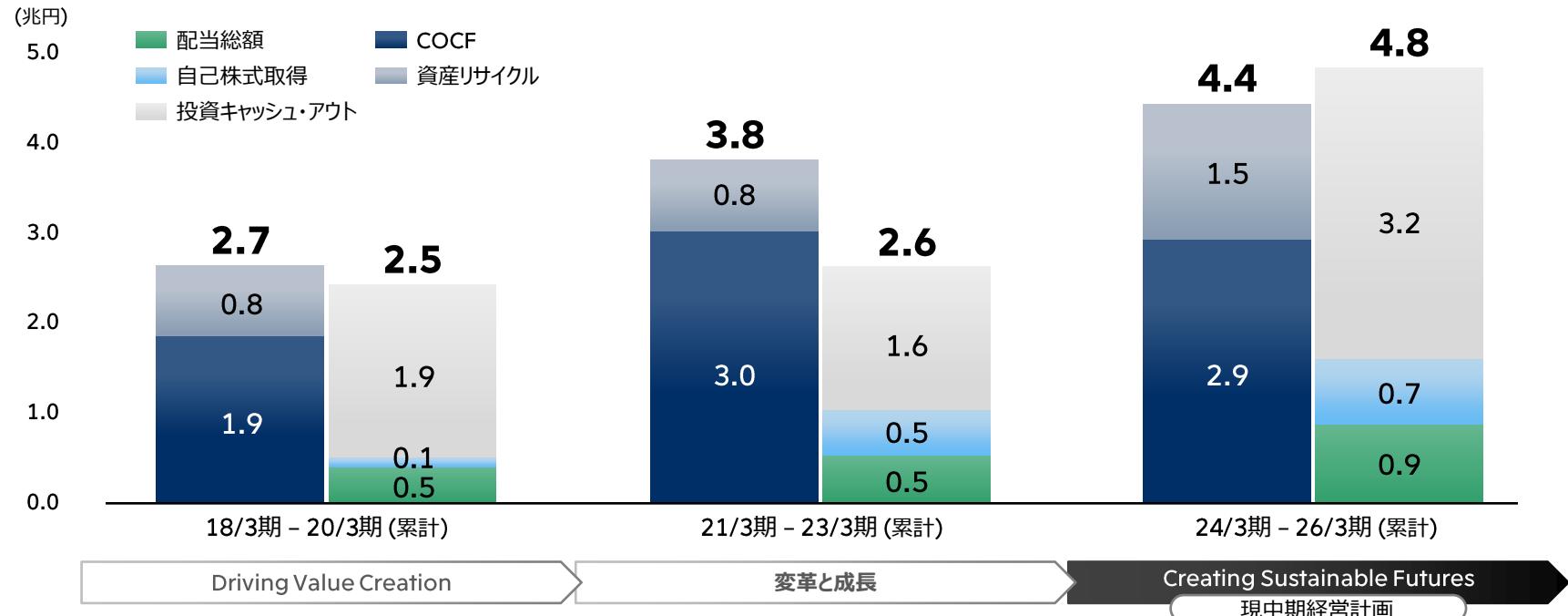
◆ 現中経でROIC約2%改善を目標に設定するも、課題案件もあり現時点で未達
(23/3期末：3.1% → 25/3期末：2.5%)



* 1 MSS (三井物産サプライチェーン・ソリューションズ) * 2 決算説明会資料「主要投資先損益」に掲載している関係会社の23/3期末から25/3期末の増減

投資と株主還元の実績

◆ 力強いキャッシュ創出力をベースに、バランスを意識しつつ投資と株主還元の双方を拡大



現中経におけるキャッシュ・フロー・アロケーションの実績

◆ キャッシュ・インは現中経の公表時から8,100億円増加、バランスシートからマネジメント・アロケーションへの4,000億円充当も含め、投資と株主還元を拡充

(単位：億円)	中期経営計画 2026 3年間累計 計画 (2023年5月公表)	中期経営計画 2026 3年間累計見通し (2025年11月公表)	増減	
IN ↑ キャッシュ・ イン^{*1}	基礎営業キャッシュ・フロー 資産リサイクル キャッシュ・イン合計	27,500 8,700 36,200	29,300 15,000 44,300	+ 1,800 + 6,300 + 8,100
OUT ↓ キャッシュ・ アウト^{*1}	事業維持 (Sustaining CAPEX) 成長投資 マネジメント・ アロケーション 自己株式取得 配当	5,700 11,700 11,300 700 6,800	6,900 25,400 - 7,200 8,800	+ 1,200 + 13,700 + 6,500 + 2,000

**マネジメント・アロケーション
の増減内訳・配分**

中経公表時 +11,300

キャッシュ・イン増加 +8,100

BSからの充当 +4,000

総額 23,400

投資 ▲14,900

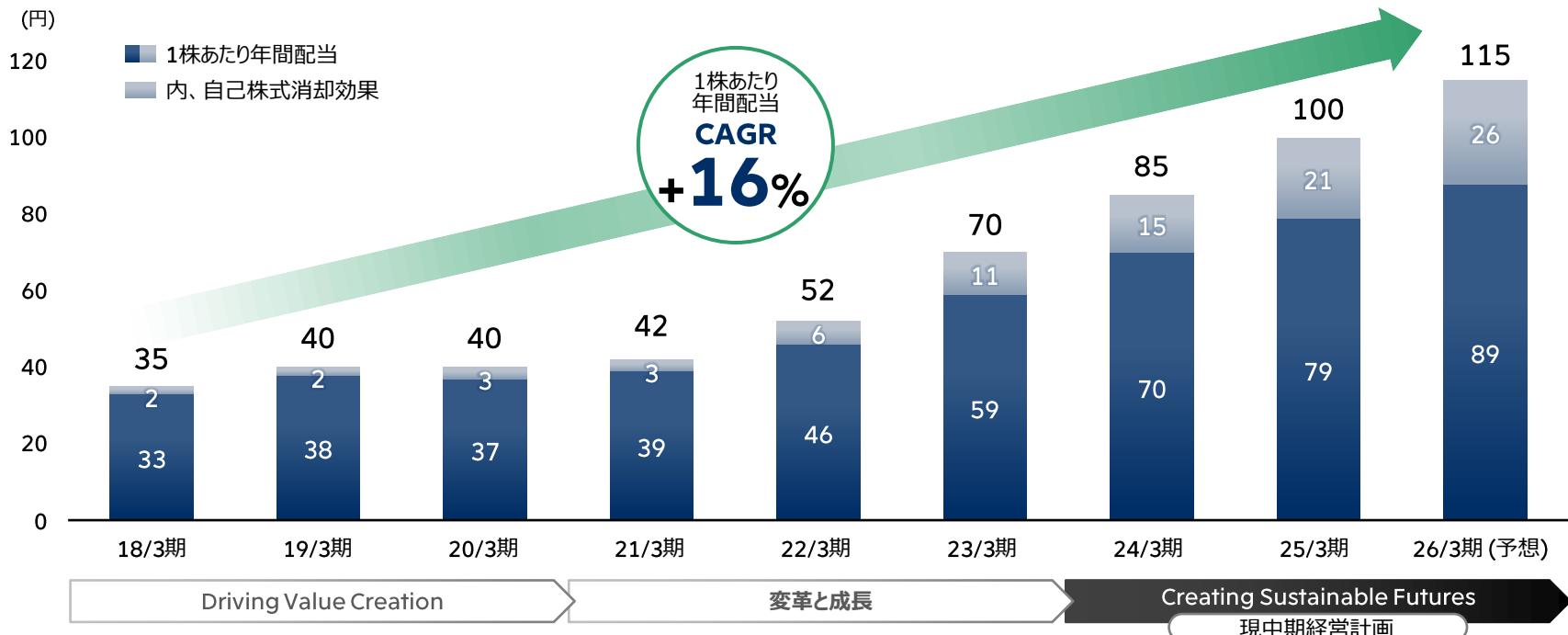
株主還元 ▲8,500

配分 ▲23,400

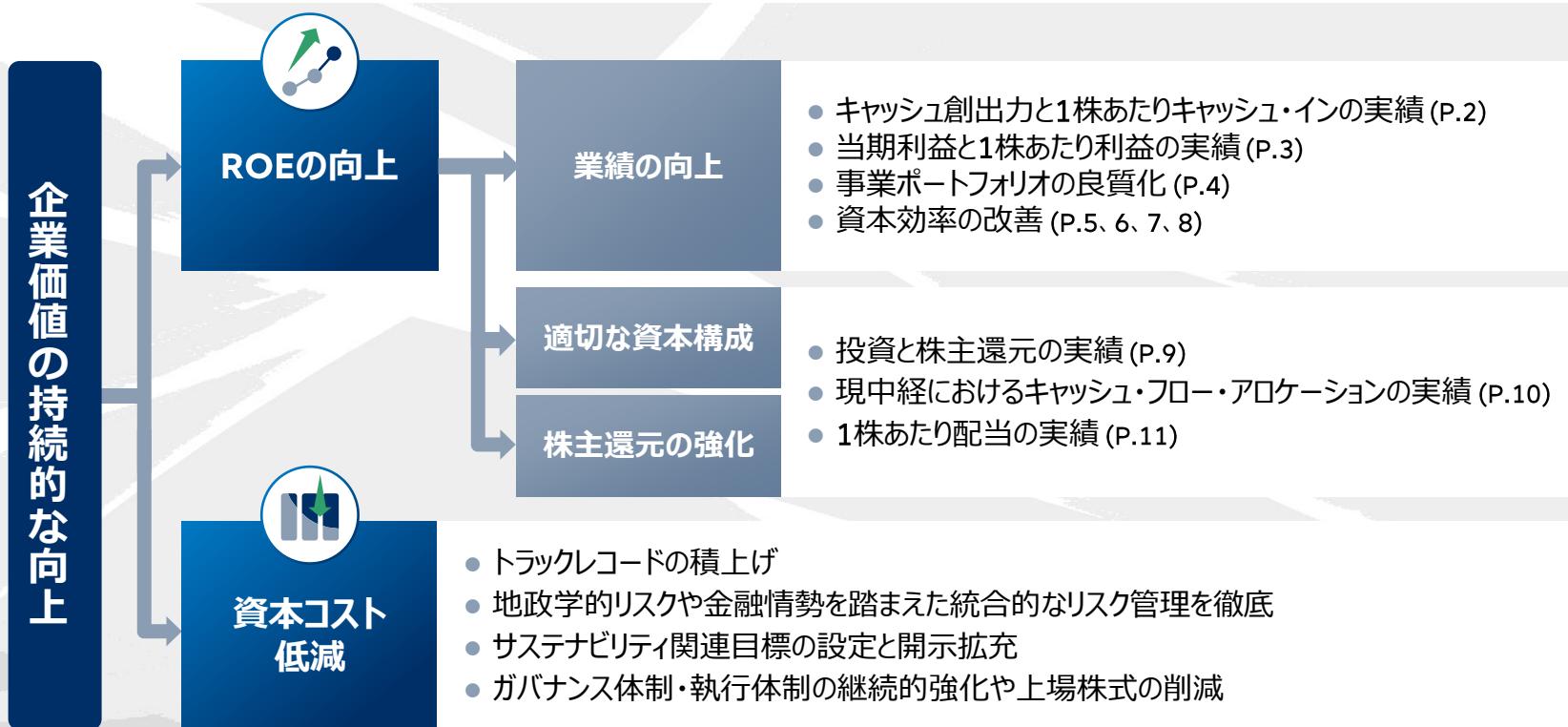
* 1 定期預金の増減は除く

1株あたり配当の実績

- ◆ 配当は年平均成長率16%で成長、継続的な自己株式取得及び消却により1株あたりの還元を拡大し、その効果が経年で積み上がり



結び



360° business innovation.



IMITSUI&CO.